

## 完了後の評価個表

整理番号	7
------	---

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	秋田県
地域（地区）名	こよしがわ 子吉川	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等
関係市町村	ゆりほんじょう 由利本荘市ほか1市	管理主体	市、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23年度～H27年度（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地区は、秋田県の南西部に位置し、北は秋田市、南は山形県庄内地方に接し、西は日本海に面した区域で、由利本荘市とにかほ市の2市で構成されている。</p> <p>地区内の森林面積は105千haと土地面積の72%を占め、民有林は82千ha（民有林率78%）、うち人工林は49千ha（人工林率60%）と、民有林率、人工林率とも県平均（53%、58%）を上回っている。</p> <p>人工林は、主に昭和30年代以降に拡大造林されたもので、Ⅲ～Ⅺ齢級が37千haと76%を占めており、森林の健全性を確保するため間伐等の森林整備が必要であるものの、木材価格の長期低迷により森林所有者の施業意欲の減退が懸念されていた。</p> <p>このため、本事業では、水源涵養<sup>かん</sup>や土砂流出防止機能などの森林の有する公益的機能の維持・増進と併せ、木材の安定供給による林業・木材産業の振興を図るため、間伐を中心とした森林整備を積極的に実施するとともに、効率的な森林整備に必要な林道等の路網整備を実施した。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 7,968ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等 路網整備 3,788m 林道開設</p> <p>・総事業費 2,799,634千円（税抜き2,697,188千円） （H22年度評価時点3,979,986千円（税抜き3,790,463千円））</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は、次のとおりである。</p> <p>なお、事前評価における総便益及び総費用と、完了後の評価における総便益及び総費用との差異は、労務単価の上昇や優先度に応じた事業の実施に伴う事業量の変動等によるものである。</p> <p>総便益(B) 75,690,255千円（H22年度の評価時点 61,726,895千円※） 総費用(C) 11,585,918千円（H22年度の評価時点 6,882,925千円※） 分析結果(B/C) 6.53（H22年度の評価時点 8.96※）</p>
② 事業効果の発現状況	<p>人工造林及び保育によって7,968haの森林整備が実施され、森林の有する公益的機能の維持増進が図られたとともに、森林作業道が整備され、高性能林業機械による効率的な作業が行われ、木材が安定的に供給された。</p>

	<p>また、林道の開設により、搬出距離が短縮し、集材効率の向上による素材生産費の低減が図られた。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>整備後の森林は、意欲と能力のある林業経営者が、林業経営計画に基づき、適切に管理しており良好な管理状況にある。</p> <p>また、開設された林道は、素材の運搬など使用状況に応じて、補修が行われるなど、市において良好に維持管理されている。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>本事業の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材の安定供給といった、森林の有する多面的機能が持続的に発揮されている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本県の令和元年度の林業就業者数は、1,360人と減少傾向が続いているが、県では、平成27年度に林業大学校を開講するなど、若い林業技術者の育成を図っており、新規林業就業者数は増加傾向にあり、林業への就業意欲は高まっている。</p> <p>また、林業の現場では、生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されている。本県では、これまで400台を超える高性能林業機械が導入されるなど、機械作業体系が定着しており、森林作業道の開設と併せて効率的な作業が行われている。</p> <p>県内では、既存の大型製材施設や合板工場に加え、新たに木質バイオマス発電施設が稼働したことで、木材需要が拡大しており、効率的かつ安定的な木材供給を通じて、地域経済の振興に寄与していくことが求められている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>標準伐期齢を超える人工林の割合が53%となり、資源の充実により主伐の増加が見込まれるが、林業採算性の悪化に加え、高齢化や後継者不在により、森林所有者の経営意欲が減退しており、主伐後に適切に更新されない森林の増加が懸念されている。</p> <p>このため、伐採と植林の一貫作業やコンテナ苗の導入による作業効率の向上のほか、下刈りの省力化等により造林の低コスト化を図り、主伐後の確実な更新を促していく必要がある。</p> <p>地元の意見</p> <p>(秋田県)</p> <p>森林施業の集約化により低コスト化を促進し、森林所有者の林業経営意欲の向上を図るため、引き続き、計画的かつ効率的な施業の実施に努める必要がある。</p> <p>(由利本荘市)</p> <p>森林環境保全整備事業で森林整備を行うことにより、水源涵養・山地保全・地球温暖化防止等、森林の有する公益的農の維持が図られ、森林の多面的機能を発揮する上で重要な事業であると考えている。</p> <p>(にかほ市)</p> <p>森林の有する多面的機能が継続的に発揮されるためには、計画的な事業実施が必要であり、本事業により森林整備及び林内路網の整備が着実に実施されると認識している。</p>

評価結果	<p>必要性： 本事業により計画的な森林整備が行われ、水源涵養、山地保全など森林の有する公益的機能の持続的な発揮が図られているとともに、木材の安定供給により林業・木材産業の振興に寄与しており、その必要性が認められる。</p> <p>効率性： 生産性の高い高性能林業機械など機械作業体系の定着に加え、林業専用道の開設によるコスト縮減が図られており、費用便益分析の結果からも効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源や路網整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する公益的機能が向上し、引き続き、その効果が発現されていることから、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

※平成 22 年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

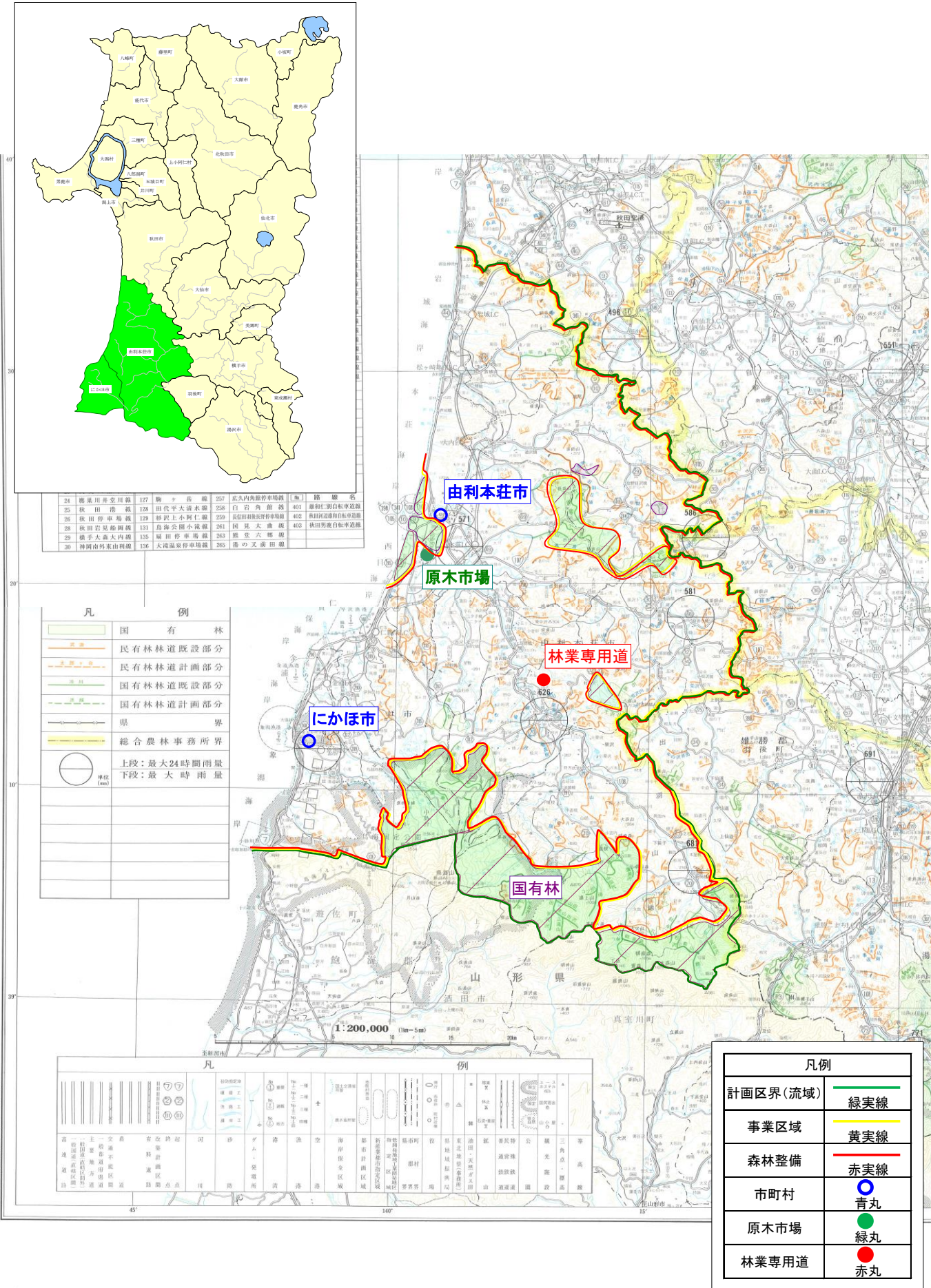
都道府県名：秋田県

地域(地区)名：子吉川こよしがわ

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	17,922,082	
	流域貯水便益	6,732,997	
	水質浄化便益	24,629,003	
山地保全便益	土砂流出防止便益	15,798,950	
環境保全便益	炭素固定便益	7,810,088	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	2,568	
	木材利用増進便益	429	
	木材生産確保・増進便益	2,782,749	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	11,389	
総 便 益 (B)		75,690,255	
総 費 用 (C)		11,585,918	
費用便益比	$B \div C = \frac{75,690,255}{11,585,918} = 6.53$		

# 森林環境保全整備事業 子吉川流域（秋田県）概況図



24 鹿角川川原川線	127 駒ヶ野川線	257 志久内角館停車場線	401 鹿角川線
25 秋田港線	128 田代平大森水線	258 白宮倉庫線	402 雄勝川線
26 秋田砂車線	129 妙野上小河仁線	259 長田砂車線	403 秋田砂車線
28 秋田石巻線	131 島袋安藤小森線	261 国見大森線	405 秋田砂車線
29 横手大森大森線	135 扇田砂車馬線	263 鹿角六郷線	
30 神岡南外山山線	136 大森温泉停車場線	265 湯の又田線	

凡 例	
	国 有 林
	民有林林道既設部分
	民有林林道計画部分
	国有林林道既設部分
	国有林林道計画部分
	界
	総合農林事務所界
	上段：最大24時間雨量
	下段：最大時雨量

凡 例	
	市町村
	原木市場
	林業専用道

凡例	
計画区界(流域)	緑実線
事業区域	黄実線
森林整備	赤実線
市町村	青丸
原木市場	緑丸
林業専用道	赤丸